

最近（1995年4月から1996年3月）沖縄県で目撃された 興味深い鳥類について (短報)

嵩原 建二⁽¹⁾・久貝 勝盛⁽²⁾・大城 亀信⁽³⁾

Interestting birds that were observed recently (Apr. 1995~Mar. 1996)
in Okinawa Prefecture

Kenji TAKEHARA, Katsumori KUGAI and Kamenobu OSHIRO

はじめに

1995年の秋季から1996年の冬季及び春季にかけて、県内各地で数少ない注目すべきまれな冬鳥や迷鳥がしばしば目撃されている。こうした記録は鳥類の渡りを考える上で重要であり、目撃記録を集約する必要性があるものと思われる。また、県内では留鳥として生息する種であっても、地域個体群としての重要性があると考えられる種（亜種）についても、目撃記録をまとめるようにした。なお、種名の扱いについては日本鳥学会（1974）にしたがった。

本報告をまとめるに際し、貴重な鳥類情報を提供していただいた沖縄市郷土博物館の赤嶺得信氏、沖縄野鳥研究会の比嘉邦昭氏と仲宗根勲氏、日本野鳥の会八重山支部の崎山陽一郎氏に感謝申しあげる。また鳥類調査に協力していただいた沖縄県立博物館の瀬名波任氏、南大東村教育委員会の金川雅之氏、南大東村文化財保護審議委員の西浜良修氏、渡嘉敷村教育委員会の座間味秀勝氏に対し厚く御礼申し上げる。

1. 沖縄県内で観察されたまれな鳥類の観察記録

(1) マガノ *Anser albifrons frontalis* Baird

1995年12月12日に金武町並里で5個体（内♂2個体）を確認した（写真1）。この小群れは1995年12月9日頃に東京野鳥の会の探鳥会で目撃されたとされている。

(1), (2)：沖縄県立博物館, (3)：沖縄野鳥研究会

本種は県内ではまれな冬鳥として渡来し、最近では糸満市西崎（沖縄野鳥研究会、1993）、宜野湾市宇地泊（沖縄野鳥研究会、1986）などの記録が見られる。

(2) コクガン *Branta bernicla orientalis* Tougarinov

1995年12月5日に沖縄島南部の糸満市米須海岸で1個体目撃された。同個体はその後、1996年1月15日には豊見城村翁長海岸に移動しているのが確認された。

本種はまれな冬鳥として渡来し、最近の記録としては読谷村長浜や糸満市北名城海岸（沖縄野鳥研究会、1993）、渡嘉敷島（嵩原ら、1995）などで記録がある。

(3) ヘラサギ *Platalea leucorodia leucorodia* Linnaeus

1995年12月17日に南大東島新東の沼地で1個体観察された（写真2）。おそらく、大東諸島からの初確認であろう。

本種は日本では鹿児島県出水における冬鳥としての渡来地以外では迷鳥とされ（黒田編、1984）、県内でもかなりまれな冬鳥として記録される。

県内におけるこれまでの記録としては、久貝・山本（1981）による伊良部島（1976年12月28日）における観察記録のほか、沖縄野鳥研究会（1986）による沖縄島南部豊見城村与根（日付け不明）などの記録が見られる。

(4) クロツラヘラサギ *Platalea minor* Temminck et Schlegel

1995年11月12日に沖縄島中部の沖縄市比屋根にある沖縄県総合運動公園北側の湿地で2個体目撃されている（赤嶺私信）。その他、1995年11月6日に宮古諸島の宮古島与那霸湾干潟で2個体、1995年11月10日に沖縄島南部の豊見城村漫湖干潟と豊見城村与根海岸で各1個体確認された。その後、1996年1月1日には那覇市の具志干潟で8個体の飛翔小群が写真撮影された（写真3）。この小群は漫湖干潟や与根及び翁長海岸などで見られた個体が集団化したものと思われる。さらに、八重山諸島石垣島の網張（アンパル）干潟でも、1995年12月7日に1個体観察されている（崎山私信）。また、12月8日には沖縄島南部の具志頭村白水川河口でも1個体観察された。

県内では表1に示したように最近6カ所ほどで渡来記録が見られるが、1995年から1996年の冬季にかけては、おおよそ14個体が確認されたことになり、これまで県内における最大の渡来数と思われる。

表1. クロツラヘラサギの県内における最近の記録

観察記録	文献等
宮古島与那覇湾（1979/12/28）	：久貝・山本（1981）
石垣島（1976/5/5），与那国島（1981/1）	：八重山野鳥の会（1983）
豊見城村瀬長島・漫湖干潟（日付不明）	：沖縄野鳥研究会（1986）
宮古諸島池間島（1993/11/27）	：嵩原（1994）
豊見城村漫湖干潟（1993/12/7）	：嵩原（1994）

(5) トビ *Milvus migrans lineatus* (J.E.Gray)

1995年12月17日に南大東島西水門近くで1個体観察された（写真4）。本種は本土ではごくふつうの留鳥であるが、県内ではまれな冬鳥（迷鳥）として渡来するとされ、これまで沖縄島、宮古島、南大東島などで記録がある（琉球新報社編、1983）。沖縄野鳥研究会（1986）によると、沖縄島南部大里村（日付け不明）における記録などが見られる。

また、糸満市糸満（1985/10/10）、久米島の具志川村鳥島（1989/5/1）、金武町金武（1994/1/16）で各1個体記録された。

大沢・大沢（1995）によって作成された南大東島鳥類リストによると、同島では1991年12月から1992年1月にかけて1個体目撃されている。したがって、今回の観察はその再確認記録である。

(6) ハイイロチュウヒ *Circus cyaneus cyaneus* (Linnaeus)

1995年12月に沖縄野鳥研究会の仲宗根勲氏によって♀1羽が確認された。また、筆者らも11月26日、12月6日に金武町並里で同一個体と思われる♀1羽をそれぞれ確認した。同地では1996年2月18日にも確認されたので、おそらく本地域でおおよそ4ヶ月ほど滞在し越冬しているものと思われた。

本種はイギリス、イベリア半島からシベリア東部に至るユーラシア大陸、北アメリカなどで繁殖し、日本にはまれな冬鳥として渡来する（黒田編、1984）。

(7) セイタカシギ *Himantopus himantopus himantopus* (Linnaeus)

1996年1月14日に沖縄島南部の糸満市兼城近くの報得川で43羽の群れが確認された。また、比嘉邦昭氏（私信）によって、同時期に沖縄島南部豊見城村饒波川においても23羽確認されている。したがって、沖縄島の2箇所に限ってみても合計66個体の渡来数が確認されている。

本種は、環境庁（1991）による「日本の絶滅のおそれのある野生動物」の中で「危急種」にランクされているが、県内ではまれな冬鳥や旅鳥として毎年のように渡来してきている。

しかしながら、これまでの確認個体数が60羽以上の例は報告されていないように思える。

2. 県内で生息する地域個体群として重要な鳥類の記録

(1) ダイトウコノハズク *Otus scops ineterpositus* Kuroda

1995年12月18日に南大東島新東近く（図1）の道路わきのモクマオウにとまっている1個体を目撃した（写真5）。

本種は大東諸島のみ生息する特産亜種であるが、最近の農地拡大による森林地域の減少や、サトウキビ害虫に対する農薬の大量使用による防除事業等で餌となる昆虫類の減少傾向が見られ、その生息実態には厳しいものがあるものと思われる。

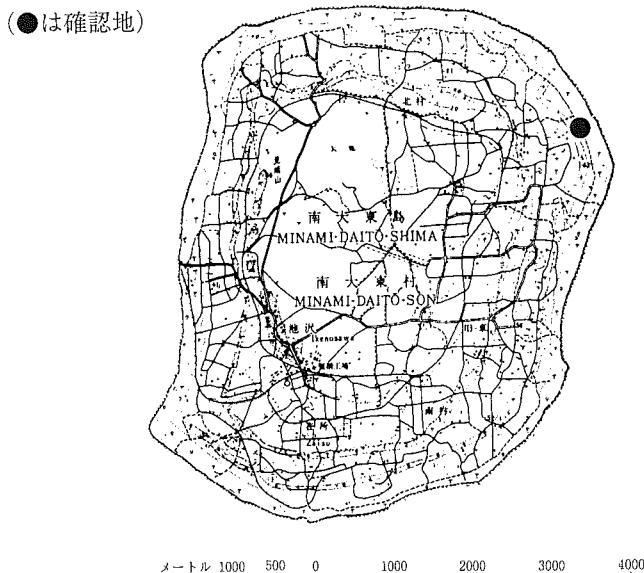


図1. 南大東島におけるダイトウコノハズクの確認地
*位置図は文化庁編（1973）を一部改変

(2) アマミヤマシギ *Scolopax mira* Hartert

1995年11月に慶良間諸島渡嘉敷島の渡嘉敷林道（11月17日）と前岳林道（11月16日）における夜間調査で各1個体を目撃した（図2）。

本種は琉球列島の特産種で、これまで奄美大島、徳之島、沖縄島北部、久米島での分布が知られている。慶良間諸島においては、阿嘉島と渡嘉敷島の大谷林道における記録がある（嵩原ら、1995）が、今度の調査で渡嘉敷島の中央部や南部など広い範囲で生息していることが確認された。しかしながら、本種がここで周年生息しているかどうかについては不明で、継続して調査を行う必要があるものと思われる。

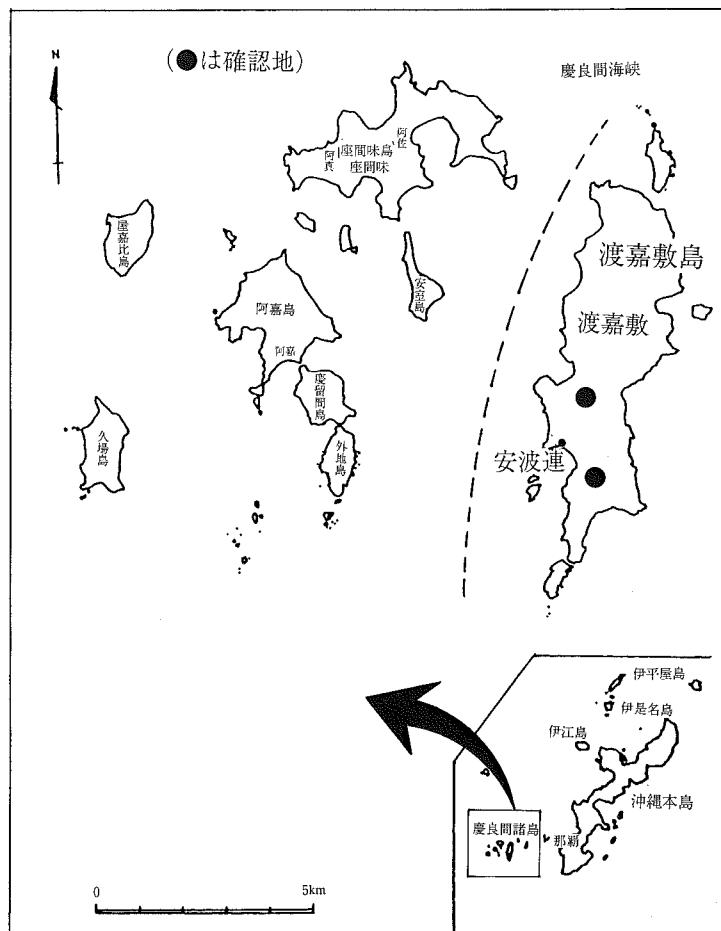


図2. 渡嘉敷島におけるアマミヤマシギの確認地
*位置図は嵩原ら(1995)を一部改変

〈引用文献〉

- 文化庁編 1973. 大東島天然記念物特別調査報告. 文化庁. 72pp.
- 大沢夕志・大沢啓子 1995. オオコウモリの飛ぶ島. 山と渓谷社. 229pp.
- 沖縄野鳥研究会編 1986. 沖縄県の野鳥. 沖縄野鳥研究会. 265pp.
- 沖縄野鳥研究会編 1993. 改訂沖縄県の野鳥. 沖縄出版. 299pp.
- 久貝勝盛・山本晃 1981. 宮古島群島の鳥類目録. 沖生教研会誌 17:15-30. 沖縄生物教育研究会.
- 黒田長久編 1984. 生物大図鑑. 鳥類. 世界文化社. 399pp.
- 環境庁編 1991. 日本の絶滅のおそれのある野生生物. 自然環境研究センター. 100pp.
- 日本鳥学会編 1974. 日本鳥類目録改訂第5版. 学習研究社. 120pp.
- 琉球新報社編 1983. 写真集沖縄の野鳥. 誠文堂新光社. 62pp.

嵩原建二 1994. 最近沖縄で目撃及び保護された興味深い鳥類（短報）. 沖縄県立博物館紀要20:141-146.

嵩原建二・池間幸男・兼城克男 1995. 慶良間諸島の鳥類. 沖縄県立博物館紀要21:101-128.

八重山野鳥の会編 1983. 八重山地方鳥類目録, 10周年記念誌, p28-38. 八重山野鳥の会.

図版1



写真1 マガツ



写真2 ヘラサギ

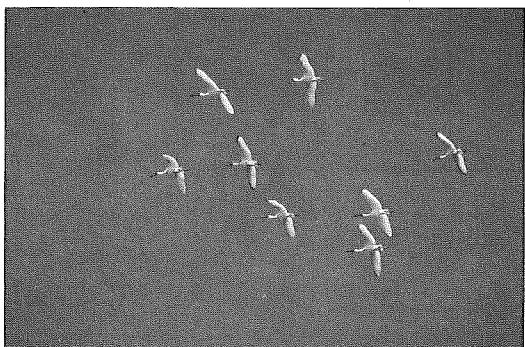


写真3 クロツラヘラサギ



写真4 トビ



写真5 ダイトウコノハズク